

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教科	総合的な学習の時間	科目名	国際理解	単位数 (予定授業時間)	1 (39)
使用教科書	なし		授業形態 ・学年	クラス・4年	
科目の目標	自国と他国の世界観や文化・習慣の違いについて理解を深める。 グローバルな問題について研究して、成果を発表する。 世界の諸問題についての改善策や解決策を考え、				
授 業 内 容 と 主 な 教 材	一学期	1. アメリカ ・ナスカの地上絵の謎 ・巨大絵の作成方法 2. ヨーロッパ ・フィンランドの人々と高福祉社会 ・福祉と税負担 [副教材: Multi-View Level 1 世界] Chapter 1-4		・左記の英文エッセーを読み、各テーマについて自分の意見を述べる ・関連テーマについて書かれた英文の資料を持ち寄り、意見交換を行う ・ちらしやポスターなどを使用する Show & Tellの手法を用いて発表する (自分が住んでいる町や都道府県の特徴, 名所案内, 地域の祭り, 名物等)	
	二学期	3. アフリカ ・広がるフェアトレード ・アフリカとフェアトレード 4. アジア ・お米のルーツを探る ・食の安全 [副教材: Multi-View Level 1 世界] Chapter 5-8		・左記の英文エッセーを読み、各テーマについて自分の意見を述べる ・関連テーマについて書かれた英文の資料を持ち寄り、意見交換を行う ・グラフや表、写真やイラストなどを駆使してテーマに沿った資料を活用するプロジェクトの手法で発表する (世界遺産や世界の七不思議等)	
	三学期	5. オセアニア ・ニュージーランドのクォールマーク ・エコ活動 [副教材: Multi-View Level 1 世界] Chapter 9-10		・左記の英文エッセーを読み、各テーマについて自分の意見を述べる ・関連テーマについて書かれた英文の資料を持ち寄り、意見交換を行う ・グラフや表、写真やイラストなどを駆使してテーマに沿った資料を活用するプロジェクトの手法で発表する (環境問題と開発・観光業, エコ活動 地球温暖化対策, 人口問題と移民, 階級社会・差別社会, ネット犯罪等)	
評価のポイント	・諸問題を多角的に考察し、それら問題の原因、関連する要因や解決方法などを考え自分の意見を構築できる ・話し合い活動に積極的に参加している ・プロジェクト活動に意欲的に取り組んでいる ・発表内容とプレゼン方法				

教科名	総合的な学習の時間	科目名	社会参加	単位数 (予定授業時間)	1 (39)
使用教科書	奉仕 (東京都教育委員会)		授業形態・学年	必履修科目・中等4学年	
科目の目標	学校を中心とした地域での様々な社会体験を積ませる。 地域社会への参加意欲を養い、社会に貢献できる資質を育てる。 体験活動を振り返り、自己評価・他者評価を行うことで、体験を客観化し、 自己の在り方・生き方を考え、将来にわたる奉仕活動に関わる意欲を養う。				
授業内容と主な教材	一学期	事前学習活動 1, この科目のねらい 1 奉仕体験活動の意義 2 自分の将来について考える 2, 様々な奉仕活動についての理解 1 児童福祉分野の活動・教育の分野の活動 2 国際交流・協力分野の活動 3 町づくり分野・地域安全分野の活動 3, 体験先の選択及び決定 1 体験の目標を個人ごとに決める 2 目標にあった体験先を選択し、ポイントをとる		・奉仕に関する基礎的な知識・理解についてワークシートにまとめて提出する。 課題意識・主体的な取組 ・奉仕に関わる活動について、調べたことをワークシートにまとめて提出する。 (課題意識・主体的な取組)	
	二学期	事前学習活動 4, 生徒が主体的に選択した体験先で奉仕活動を行う。(21授業単位分) 連携先の小学校での行事運営の手伝い、小学校での夏休み中の水泳指導の手伝い、学習指導の手伝い、器楽指導など。文京区社会福祉協議会主催の市民ボランティア祭りへの参加と手伝い、環境ネットワーク文京主催の行事の手伝い、都立六義園の清掃活動、国際ボランティア活動への参加などを行わせる。		奉仕活動を通じて、自ら課題を解決できたかについて、自己評価、他者からの相互評価、連携先での証明等を評価表に記入して提出する。 (主体的な取組・意識行動の変容・協同、貢献)	
	三学期	事後活動学習 5, 活動の記録のまとめ 6, 評価 1 体験活動での自己評価 2 他者評価 3 他者評価を見ての振り返り		活動の記録の報告書の作成、活動体験をふまえた評価活動における自己の変容 (主体的な取組・意識行動の変容・貢献)	
評価のポイント	上の表の右側の中の評価計画を参照				